

9. マダガスカル関連事業

平成20年5月31日、仙台市にてチンバザザ動植物公園と最初の協力協定を締結して以降、当園はマダガスカルの原猿類等の域外・域内保全を推進すべく、同国唯一の国立の動物園であるチンバザザ動植物公園へ環境教育プログラムの開発や改善、飼育の技術移転を実施してきた。

平成20年から平成22年度までは、JICA草の根技術協力事業「自然環境保全に関わる環境教育実践プログラム研修」事業を通じて、チンバザザ動植物公園の飼育環境改善、環境教育の実施体制整備、教育プログラムや教材の開発に貢献、国内ではイベントや交流会を通じて環境教育を行った。この間、協働で事業を実施していた宮城教育大学が、文部科学省より受託した「国際教育協力イニシアティブ事業」により、マダガスカルの動物園を舞台とした環境教育・ESD（持続可能な発展教育）の指導者研修を実施、学校教育との連携を形にすることができた。

平成23年度以降は、マダガスカルの政情不安によって予算規模を縮小させており、チンバザザ動植物公園のアイアイ繁殖計画やアイアイ生息地での保全・教育活動の側面的支援を行ってきた。

平成25年度には、平成20年度に締結した協力協定の期限を迎えることをうけ、マダガスカルの環境省を含む仙台市・マダガスカル高等教育省との三者協力協定の締結を実現した。これにより、当園の動物導入のみならず、マダガスカルの固有の生物多様性保全に貢献すべく、チンバザザ動植物公園と希少種繁殖のための研究と域内保全への取り組みを協働して行っていくこととなる。

また、平成25年には、チンバザザ動植物公園が東京動物園協会野生生物基金による助成を受け、マダガスカル最大の肉食獣フォッサ*Cryptoprocta ferrox*繁殖のための獣舎改修と、生息地におけるブッシュミート及び森林破壊対策として地域住民への啓発活動、使用する薪材を少なくさせる改良かまど普及を実施することになったことを受け、書類業務を中心に支援を行った。

その後、平成26年と平成27年には、北海道大学低温科学研究所と国立感染症研究センターが共同で行う人獣共通感染症の1つハンタウィルスの研究への協力として、チンバザザ動植物公園との間を仲介し、覚書の締結及び国内数か所でのジャコウネズミ等小型哺乳類の捕獲調査を実施した。この計画を通じて、チンバザザ動植物公園職員への検疫に関する指導、はく製等標本作りと保存管理に関する研修会を実現した。

平成28年度には、前年度にJICAへ提案した草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）「動物園を拠点とする生物多様性保全のためのESDプロジェクト」が採択され、1年を通じて実施計画の調整をすすめた。平成29年2月にはマダガスカルにおいて関係機関とミニッツを締結し、3月1日にはJICAより正式に事業を受託することとなった。これより36か月間、先行事業と同様にマダガスカルからの研修員受入や専門家としての職員派遣を通じて、チンバザザ動植物公園の教育能力の向上、域内保全区における持続可能な発展のための教育活動の推進、動物園におけるESDアクションプランの作成を、宮城教育大学と連携して実施する。年度内にはカウンターパート機関であるチンバザザ動植物公園の園長と動物園を監督する省庁の高等教育省よりクリスチャン次官に来仙して頂き、実施する事業の計画概要について日本側関係者との意見交換し、共通の方針をもって事業を開始できた。

平成29年度には、6月に専門家派遣を行って、チンバザザ動植物公園と域内保全区の実状を把握して、事業達成のためのアクションプランを作成した。9月にはチンバザザ動植物公園から研修生を受け入れて、ESD等の研修を行った。11月と2月には、専門家派遣を行って、チンバザザ動植物公園と域内保全区におけるアクションプランの進捗状況を確認すると共に、技術支援を実施した。

平成30年度には、6月と9月に研修員受け入れを行い、域内保全区関係者と日本国内の先進施設の視察、チンバザザ動植物園職員の飼育技術研修や標本作成研修を行った。8月と10月には、専門家派遣を行い、チンバザザ動物園の施設改修や維持管理技術支援を実施した。

これまでの主な事業実績

平成18年度	【仙台市】チンバザ動植物公園視察と協定書等についての協議
平成19年度	【仙台市】宮城教育大学との環境教育に関わる連携の覚書 マダガスカル公式訪問(共同声明の調印)
平成20年度	【仙台市】チンバザ動植物公園と協力協定の調印, マダガスカルシンポジウム(仙台市) チンバザ動植物公園によるアイアイ生息地調査への協力
	【JICA草の根技協】現地事前調査、研修員受入(2名5週間), 専門家派遣(4名2週間)
平成21年度	【仙台市】チンバザ動植物公園の検疫舎建設への協力
	【JICA草の根技協】研修員受入(5名2週間), 専門家派遣(4名2週間), 中間評価会 マダガスカルミニシンポジウム(せんだいメディアテーク)
	【文科省イニシアティブ】渡航調査(述べ6名21日間)、関係者招聘(述べ4名23日間)
平成22年度	【仙台市】チンバザ動植物公園の検疫舎・キツネザル飼育舎改修への協力
	【JICA草の根技協】研修員受入(のべ4名6週間)、専門家派遣(4名2週間)
	【文科省イニシアティブ】渡航調査と教員研修のWS(のべ3名20日間)、関係者招聘(2名2週間)
平成23年度	【仙台市】チンバザ動植物公園のキツネザル飼育舎改修への協力 アイアイ保護のための植林活動・住民啓発活動・環境教育活動への協力
平成24年度	【仙台市】協力協定書更新のための協議, アイアイ飼育管理に関する協力 アイアイ保護のための植林活動・住民啓発活動・環境教育活動への協力
平成25年度	【仙台市】協力協定書(更新)の締結 アイアイ保護のための植林活動・住民啓発活動・環境教育活動への協力
	【その他】助成金によるフォッサ獣舎改修等, 感染研・北大調査の協力と職員技術研修
平成26年度	【仙台市】アイアイ保護のための植林活動・住民啓発活動・環境教育活動への協力
	【その他】チンバザ動植物公園への動物検疫指導及び職員技術研修
平成27年度	【仙台市】アイアイ保護のための植林活動・住民啓発活動・環境教育活動への協力
平成28年度	【JICA草の根技協】新規事業の覚書締結, 3月ラントゥ園長及びクリスチャン高等教育省次官招聘
平成29年度	【JICA草の根技協】研修員受入(4名9月3週間), 専門家派遣(6月2名3週間, 11月1名2週間, 2月3名2週間)
平成30年度	【JICA草の根技協】研修員受入(4名6月2週間, 4名9月2週間), 専門家派遣(8月1名2週間, 10月3名2週間), シンポジウム開催(9月メディアテーク), 園内イベント開催(11月)